

<連載(120)>

世界最大のクルーズ客船 グランド・プリンセスのカリブ海クルーズ



大阪府立大学海洋システム工学科教授
池田 良穂

今回の 視察で乗船したのは、現在世界最大のクルーズ客船「グランド・プリンセス」。世界のクルーズ会社ビックスリーの一社であるプリンセス・クルーズが運航する船で、98年春にイタリアの造船所で完成し、夏には欧州水域でのクルーズを実施し、10月にカリブ海にやってきたばかりのピカピカの新造船である。しかし、この船も来年には世界一の座を譲ることとなる。14万トン型クルーズ客船の第1船が登場するからである。それほど、北米のクルーズ市場は急速な膨脹を続けており、客船も大型化も著しいのである。

プリンセス・クルーズ は、イギリスの老舗船会社P&O社の子会社であるが、もともとはアラスカでのクルーズを行っていたイタリア系の船会社を買収して、北米西海岸でのクルーズを70年代半ばに開始したのが始まり。夏のアラスカ・クルーズを主力商品にして、アラスカ・クルーズがオフシーズンとなる冬季には、カリブ海等でのクルーズを実施

していた。P&O本社のクルーズ部門が古典的なクルーズにこだわって成長が鈍かったのと対比的に、カリフォルニアを拠点とするこの子会社はアメリカ・スタイルのクルーズを実施して、順調に業績を伸ばし、同じくアラスカ・クルーズを中心にしていたイタリア系のシトマー・クルーズも合併して、巨大クルーズ会社へと成長した。特に、北米のテレビ番組のヒットとなった「ラブボート」の舞台になったこと、美味しいイタリア系の料理を中心にしたこと、他のビックスリーのクルーズ船に比べると、若干トラディショナルで高級な雰囲気 of クルーズを提供したことなどがあって、特に年配の乗客には絶大の人気を博していた。

現在、プリンセス・クルーズが運航するのは、10万トン型の「グランド・プリンセス」、7万7千トン型の「ドーン・プリンセス」と「サン・プリンセス」、7万トン型の「リーガル・プリンセス」と「クラウン・プリンセス」、4万5千トン型の「スカイ・プリンセス」と

「ロイヤル・プリンセス」、2万トン型の「アイランド・プリンセス」と「パシフィック・プリンセス」の計9隻で、さらに10万トン型2隻と7万7千トン型2隻を建造中。北米のビックスリーの中では一番規模が小さいクルーズ会社なので、さらに船隊の拡充へと進む可能性も強いように思う。

日本では、東京のクルーズ・バケーション社がプリンセス・クルーズの総代理店となっており、クルーズの予約から、空港と港またはホテルとの間のコネクション、現地のホテルの手配までしてくれる。このクルーズ・バケーション社長の木島女史は、古くからクルーズの成長性に目を付け、海外のクルーズ会社の船旅を取り扱ってきたクルーズ旅行代理店の老舗的存在で、筆者もクルーズ振興のための委員会等で一緒に仕事をさせて頂いている一人。今回の視察旅行が決ったときに、電話でご挨拶し、船内でのパーサーへのインタビューの依頼をお願いすると気軽に引き受けていただいた。

まず、グランド・プリンセスのクルーズルートと料金を紹介しておこう。起点港は、フロリダ半島のフォート・ローダーデイルで、毎週日曜日の夕方に出港し、セント・トーマス、セント・マーチンと、同社のプライベートビーチのあるバハマのプリンセス・ケイに帰港して、日曜日早朝に帰港する7泊8日のクルーズを繰り返している。全船モノクラスで、料金は1300~5000ドル、邦貨で16~60



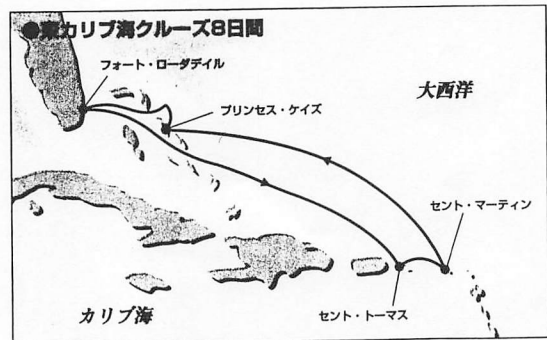
グランド・プリンセス船内

GRAND PRINCESS

グランド・プリンセス

東カリブ海クルーズ8日間

日次	曜	寄 港 地	入港時間	出港時間
1	日	フォート・ローダーデイル フロリダ	午後乗船	18:30
2	月	クルージング	—	—
3	火	クルージング	—	—
4	水	セント・トーマス 米領ヴァージン諸島	7:00	18:00
5	木	セント・マーチン 仏・蘭自治領	7:00	17:00
6	金	クルージング	—	—
7	土	プリンセス・ケイズ バハマ	8:00	15:00
8	日	フォート・ローダーデイル フロリダ	午前下船	—



万円。この料金には、1週間の船賃、食事、エンターテイメント等ほとんどのものが含まれているから絶対お買い得の旅と言える。筆者らは、アウトサイドの比較的安いキャビンを押えることができ、1週間で約1600ドル、20万円弱を支払った。一日あたり3万円だから、海外旅行の一般的なパッケージツアーとあまり変わらない料金である。

料金表を見て驚いたことがある。このクルーズ料金の季節変動が激しいことである。

例えば、クリスマスシーズンの2航海は最も高く、最低のキャビンの料金が2400~2600ドル、すなわち一般的なシーズンの2倍近くの価格設定となっているのである。乗船して聞いたところによると、このシーズンは予約殺到で3000名以上の乗客が乗るとか。需要に応じた戦略的な価格設定をしていることが判る。また、4月上旬のイースター休暇の頃、そして2月14日発も結構高い。

とって隠岐の旅。隠岐宝島



さあどうぞ
国立公園隠岐の島へ

 隠岐汽船

隠岐汽船株式会社

代表取締役社長 永海 大和

本 社／島根県隠岐郡西郷町大字中町 ☎(08512)2-1122(代)
七 類 営 業 所／島根県八束郡美保関町七類 ☎(0852)72-2215
境港旅客営業所／鳥取県境港市大正町無番地 ☎(0859)44-4281